

支え愛・ほっとステーション活動報告
～コロナ禍で見えたつながりの大切さ～

令和4（2022）年度



品川区社会福祉協議会
支え愛・ほっとステーション

はじめに

品川区社会福祉協議会は、昭和27年11月に任意団体として発足し、おかげさまで本年70周年を迎えることができました。

この70年、時代とともにさまざまな福祉ニーズが求められ、多様化してきました。

こうした中、身近な福祉の相談窓口として、支え愛・ほっとステーションの事業を開始しました。

支え愛・ほっとステーションは、平成23年からモデル事業として、品川第二地区、荏原第二地区から開始し、平成25年に本格実施となり、平成29年に全地区への設置が完了しました。区内13圏域に2名ずつ職員を配置し、生活支援コーディネーターとしての役割も担っています。

各地区において行政と協議しながら地域づくりや地域の居場所についての検討を重ねており、そのような動きを可視化するために、本報告書では地域住民の方々とコーディネーターがどのようにネットワークを作りながら活動しているのかをまとめました。

今後も誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指してまいります。

令和4年12月

社会福祉法人 品川区社会福祉協議会

事務局 長 大串 史和

目次

支え愛・ほっとステーションってどんなところ？・・・・・・・・・・ ③

活動報告 ～コロナ禍で見た地域のつながりの大切さ～



よりみち再開に向けて動き始めました

品川第一地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑤

大井第二地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑦

荏原第二地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑨

荏原第三地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑪

八潮地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑬



新たな「つながりの場」を作りました

大崎第二地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑮

大井第一地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑰

荏原第一地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑲

荏原第五地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉑



地域に合った取り組みを実施しました

品川第二地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉓

大崎第一地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉕

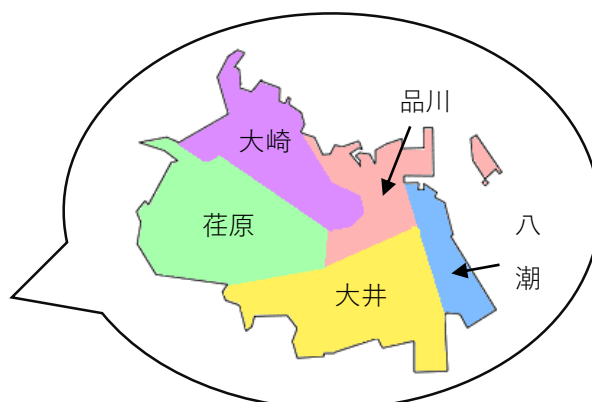
大井第三地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉗

荏原第四地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉙

よりみち一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉓

窓口一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ㉓

品川区は、
5つの地区に分けられます



支え愛・ほっとステーションって どんなところ？

品川区内の地域センターにある「**身近な福祉の相談窓口**」です。

高齢者が孤立しないように、地域の皆さんから相談を受けたり、

地域支援員（ボランティア）と一緒に、さまざまな見守り活動をしています。

相談
窓口

「こんな相談はどこにしたらいいの？」
迷った時は、職員と一緒に解決策を考えます。



ほっと
サービス

「エアコン掃除など、ちょっと困ったな...」
そんな時は、地域支援員がお手伝い！



よりみち

身近な地域で、誰もが楽しく参加できる憩いの場です。
感染対策をしながら、少しずつ再開しています。

地域
交流会

ずっと暮らせる地域づくり等をテーマに、
参加者同士で交流を深める会も開催中！



お話
相手

「一人暮らしで話し相手がいない。誰かと話せたらなあ。」
職員による定期電話や、地域支援員による
定期訪問・ほっと電話はいかがですか？

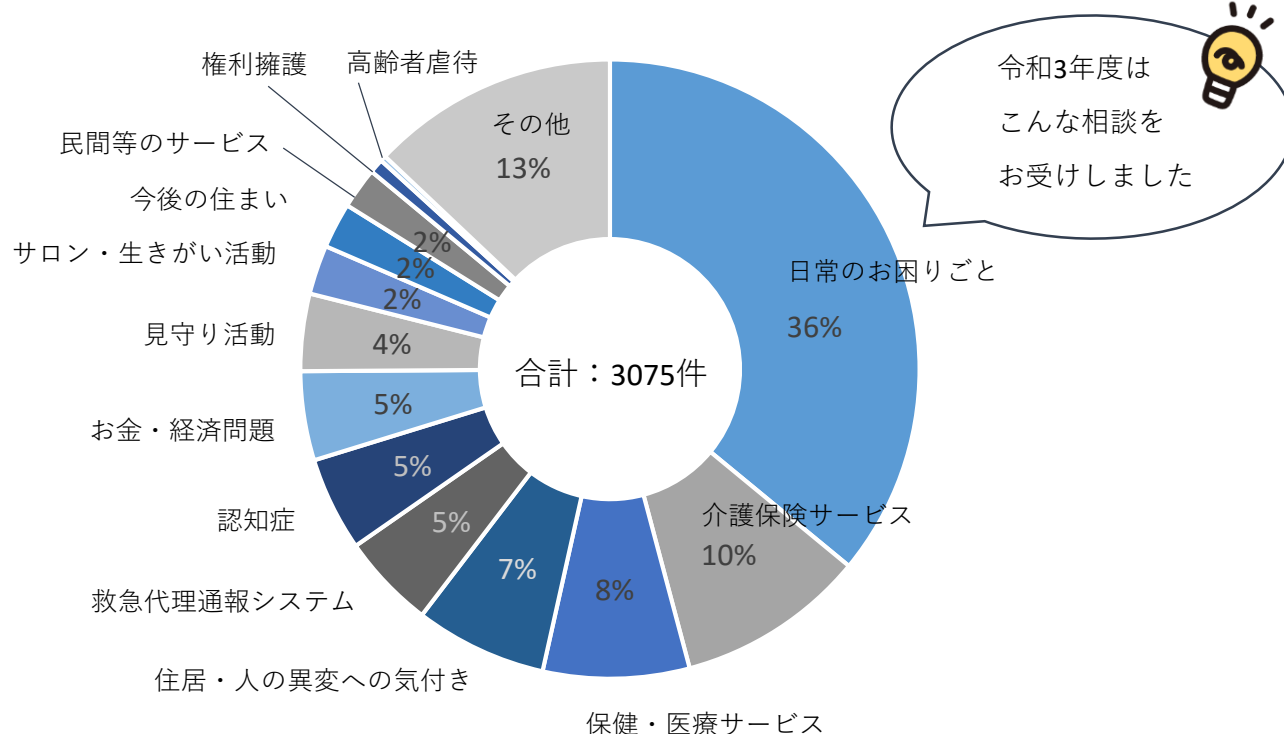
救急代理
通報
システム

「家で倒れてしまったら心配だな...」
機械による見守りで、**24時間365日**いつでも
警備員が駆け付けます！



■ どんなことを相談したらいいの？

どんなことでも、相談OKです！支え愛・ほっとステーションの役目は、「つなぐこと」です。日常生活のお困りごとや心配ごとをはじめ、「どこに相談したらよいか分からない」ことも含め、さまざまな内容の相談を受け付けています。



■ 今年の年報は・・・

コロナ禍に入り、3年目。休止していた事業を少しずつ再開したり、こんな時期だからこそ必要なサービスはないか、地域の方と一緒に話し合ってきました。全13地区での取り組みを、3つのグループに分けてご報告します。

それぞれのポイント

よりみち再開に向けて動き始めました P.5～14

- ・コロナになる前と後のよりみち
- ・再開に向けた話し合いの中で気持ちを確かめ合う
- ・再開して、改めて感じたつながりの強さ



新たな「つながりの場」を作りました P.15～22

- ・コロナ禍だからこそ、つながりを求める声が多くありました
- ・地域の方が求めるつながりについて丁寧に話し合い、想いをカタチに



地域に合った取り組みを実施しました P.23～30

- ・地区ごとにつながりを活かした取り組み
- ・できることを話し合い実現へ
- ・地域の中のさまざまな機関と連携



品川第一地区 本照寺でのよりみち再開



開設年度：平成28年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：27名

利用者数：88名



フリースペース：

よりみち ばんば（平成29年2月～）

◆ よりみち ばんば ◆



よりみち ばんばを知る

よりみちが休止して約1年。開設当時のお話やコロナ前の開催の様子などを、地域支援員と振り返りました。「参加者も地域支援員も気軽に来られて、情報交換の場になっていた」という、よりみち ばんばならではの良さを再確認しました。



コロナ前の開催の様子

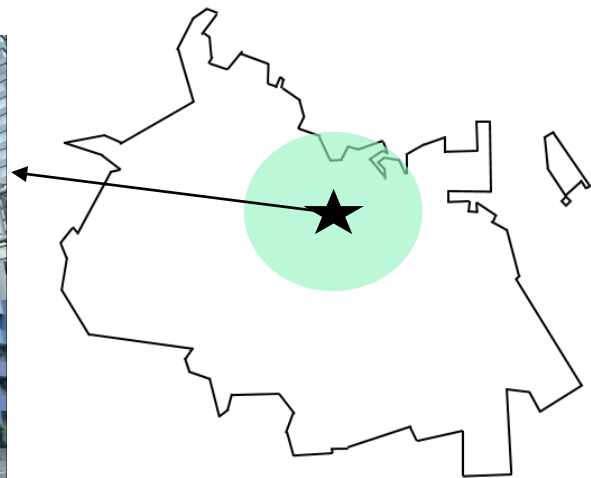


ミーティングを実施

よりみちの運営に携わっていた地域支援員と、再開に向けたミーティングを重ねました。街中で参加者にお会いしたり、「ばんばはいつ再開するの？」と聞かれることもあるそう。よりみちでできたつながりは、休止中でも地域の中で続いていることを実感しました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



本照寺で久しぶりの再会

お役立ち情報集の製本作業を、よりみちばんばの参加者・地域支援員にご協力いただきました。よりみち会場として使用していた本照寺の応接間で、お互い久しぶりの再会となり「今回のように少人数で感染対策を徹底すれば、よりみちとしての再開も可能では？」との意見も出しました。



よりみち ばんば再開

約2年の休止期間を経て、令和4年2月に「よりみち ばんば」が再開しました。少人数の予約制・時間短縮など感染対策のため制限はありますが、新しい参加者も仲間入りし、和やかな雰囲気で開催されました。再開後も地域支援員とミーティングを行いながら、コロナ禍での運営や周知方法について考えています。



大井第二地区 地域での居場所の大切さ



開設年度：平成27年8月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：42名

利用者数：92名



フリースペース：

よりみち やまなか（平成29年5月～）

◆ よりみち やまなか ◆



自分達でできることを 発見！

「コロナ禍でも地域の方と関わるきっかけを持ちたい」と考え、地域支援員との話し合いを開催しました。コロナ禍で何ができるか、何が必要なのか、改めて考え気付くことができました。



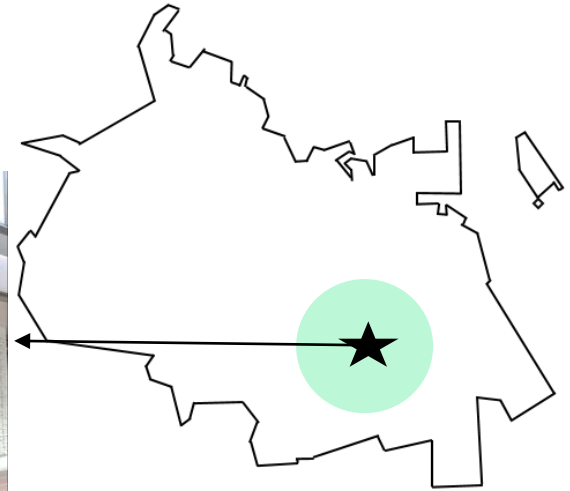
再開を望む 声上がる



定期電話や来所時に地域の方から「やまなかでお話する時間が待ち遠しい」「またやまなかに行きたい」と、よりみちの再開を望む声が上がってようになってきました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



よりみち やまなか の再開に向けて！

よりみち運営に携わる地域支援員との話し合いを重ね、安心してよりみちを再開するにはどのようにすればよいか考えていく中で、地域での居場所の大切さを実感し、それぞれの思いを汲みながら、再開に向けて動き始めました！



「よりみち」のいま

地域支援員一人一人が地域での見守りに対する意識が高まり、地域の居場所として集まる場があることの大切さを実感しています。毎回、何か発見があり、定期的なミーティングを行いながら地域支援員も楽しみながら運営をしています。



荏原第二地区

みんなに笑顔と安心を！ そんな居場所を再び



開設年度：平成23年10月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：39名

利用者数：88名



フリースペース：

よりみち 荏原いきいき倶楽部（平成26年5月～）

◆ よりみち 荏原いきいき倶楽部 ◆



コロナ禍でも ミーティングを開催

コロナ禍で よりみちが中止になってしまい、今までの参加者との交流が途絶えました。どんな形なら関わりを保ち続けることができるか、地域支援員と定期的に話し合いを重ねる中で、手作りのお手紙を作り、皆さんの自宅へお届けしました。

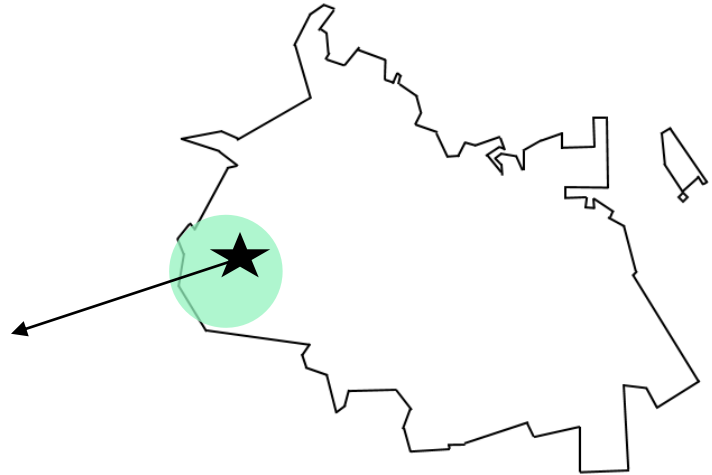


ミーティングから 生まれた地図作り

お手紙を配って参加者の笑顔にふれた地域支援員。更にどんなことなら喜んでもらえるか話し合う中で、思い出話に花が咲きました。「昔の西小山はたくさんお店があって賑わっていたな」「三味線の音がいつも聞こえていたよね」など出てくるエピソードを思い出地図にしてまとめ、よりみちの参加者に届けることに。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



盆踊りのイベント実施

地図を作る中で、「昔が良かったと思うのは、人とのつながりが生活に浸透し、身近に安心を感じていたからでは」と話し合った地域支援員。中止していたよりみちがつながりを保つ場所の一つだと気づき、よりみち再開へ動き出しました。足掛かりに盆踊り大会を企画。地域支援員、参加者が準備・練習し、共に楽しむことを目的に実施しました！



「よりみち」のいま

コロナの影響はゼロにはなりませんが、地域の中の居場所を作りたいと、毎週開催することに。地域支援員も参加者も、一緒に楽しめるよう、アイディアを出し合って運営しています。参加者から困りごとの相談を受け、地域支援員が様子を見に行き、解決したことも。よりみちを通した新たなつながりが、安心と集う喜びをもたらしています。



七夕飾りを
作りました♪

荏原第三地区 再開を待っている人がいる



開設年度：平成28年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：28名

利用者数：72名



フリースペース：

よりみち 荏三（平成29年5月～）

よりみち わかば（令和元年12月～）

◆ よりみち 荏三 ◆



憩いの場「よりみち わかば」

令和元年12月、戸越1丁目の閑静な住宅街に、誰もが気軽に立ち寄り、楽しくおしゃべりして交流できる憩いの場 よりみち わかば がオープン！この時はまだ、未曾有の危機が迫っていることなど、知る由もありませんでした。



コロナ前の開催の様子

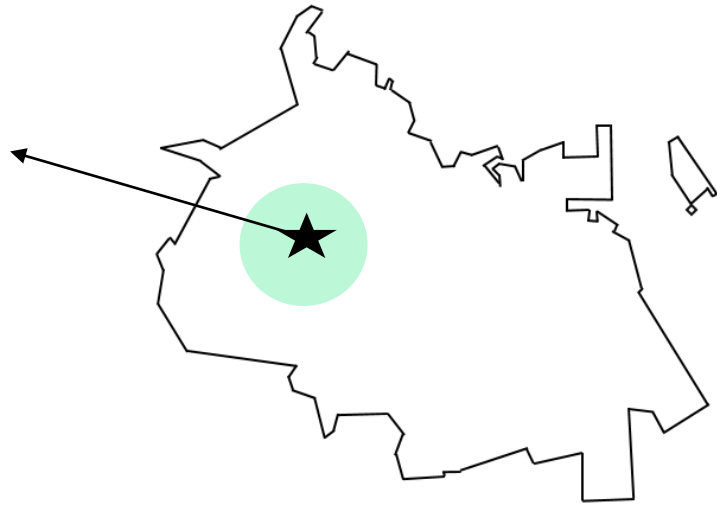


「よりみち わかば」の休止

ところが、オープン間もなく世界中に新型コロナウイルスが拡大。地域支援員や参加者の安心・安全を守るため、令和2年2月、よりみち わかばを一時休止する決断を余儀なくされました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



再開へのミーティング開始

感染者数が落ち着かない状況でしたが、令和3年7月、再開に向けてミーティングを開始しました。話し合いを重ねていく中で、再開を待っている方がいること、人と会って話すことや交流できる場が必要であることを地域支援員と再確認。「よりみちわかば」の再開を決意しました。



「よりみち わかば」 再開へ

令和4年3月、約2年振りによりみちわかばが再開となりました。検温、手指消毒、マスク着用など感染予防対策を取りながら、地域支援員と参加者でおしゃべりやトランプなどを楽しんで過ごしています。人と会って話すことの大切さや喜びを実感しています。



八潮地区 新生ほっと八潮始動！



開設年度：平成28年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：31名

利用者数：63名



フリースペース：

よりみち ほっと八潮（平成29年10月～）

◆ よりみち ほっと八潮 ◆



よりみち「ほっと八潮」 開催

地域センター横の事務室で
よりみちは生まれました。

地域の拠り所・居場所として、
三々五々みんなが集まって、お
茶やお菓子をいただきながら、
お話タイム。ゆったりと、まっ
たりと、過ごしていました。

コロナ前の開催の様子



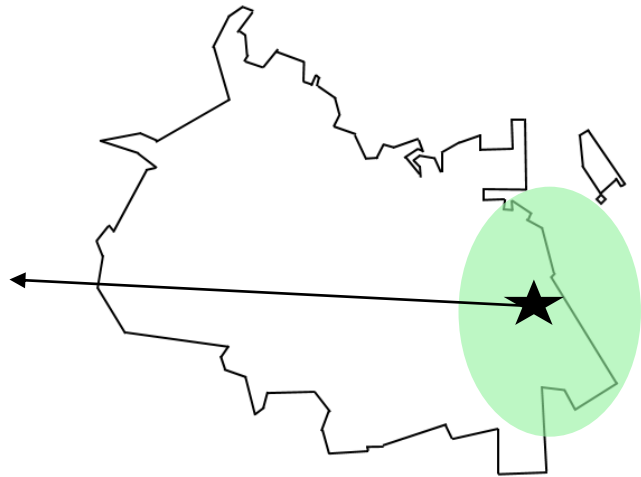
コロナ禍での模索

一変、コロナ禍により施設の
利用ができなくなってしまいま
した。それでも「地域の方と関
わるきっかけを持ちたい」とい
う声が上がりました。

再開に向けて、少人数で話し
合いを重ねました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



よりみち再開場所の模索

みんなで集まれない、今までの開催場所も使えないという苦しい状況でしたが、開催の場所探しをしながら、想いを一緒にする地域支援員も増えました。再開に向けて、更に話し合いを重ねました。



よりみち「ほっと八潮」始動

開催場所の変更、新しい地域支援員の加入を経て、ついに新生よりみちが始動！

地域の居場所として集まる場があることの大切さを感じながら、こみゅにていぷらざ八潮で再会を果たしました。



大崎第二地区

電話による新たな見守り



開設年度：平成27年8月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：41名

利用者数：69名



ほっと電話スタート！！



ほっと電話は、今までは人と直接会い、話ができていたことが
コロナ禍で難しくなる中で、つながり続ける方法はないかと地域支
援員と一緒に考え始まった新たな電話での見守り活動です。

大崎第二地区では大崎四丁目町会会館をお借りし、
令和3年6月から活動を開始しました。利用者の方からは
「地域の方から電話をもらえて嬉しい」とのお声をいただ
いており、同じ地域の住民同士だからこそ話せる安心の時間
となっています。



また、地区を越えて同じほっと電話の活動をする地域支援員同士
が意見交換する機会もあり、想いや考えを共有しました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



地域のつながりを 深める

ほっと電話の活動を通じて、地域の人同士がつながることの大切さを実感し、令和3年12月に大崎第二地区地域交流会を開催しました。地域で活動する皆さん同士で日頃の活動について話をしていただき、参加者からは「一緒に地域のことを考えられる仲間がいるのは嬉しい」との感想が聞かれました。



ほっと電話のいま

地域のことを一緒に考える仲間になるきっかけとして開催した地域交流会で、ほっと電話の活動を知った地域支援員が新たに仲間として加わるようになりました！ほっと電話の活動を通じて地域の見守りについて地域支援員同士で相談しながら考えています。



大井第一地区 みんなの力を結集させた居場所づくり



開設年度：平成28年4月



フリースペース：



登録状況（令和3年度末現在）よりみち お～いっ（令和元年6月～ 現在休止中）

支援員数：59名

よりみち 関ヶ原（令和4年1月～）

利用者数：71名

よりみち 鈴ヶ森（令和4年1月～）

よりみち 関ヶ原

地域支援員からの声

コロナ禍で、「よりみち お～いっ」が休止する中、地域支援員から「他のところでもよりみちを始めよう」と声があがり場所を探し始めました。



居場所運営にむけて

コロナ禍での居場所をどのように運営していけばよいのか、開設するまでに地域支援員と話し合いを何度も重ねました。



よりみち 鈴ヶ森

地域支援員からの情報提供

「コロナ禍でも居場所がほしい」と話し合いがされる中、地域支援員より場所を提供してくださるお寺があると情報提供がありました。

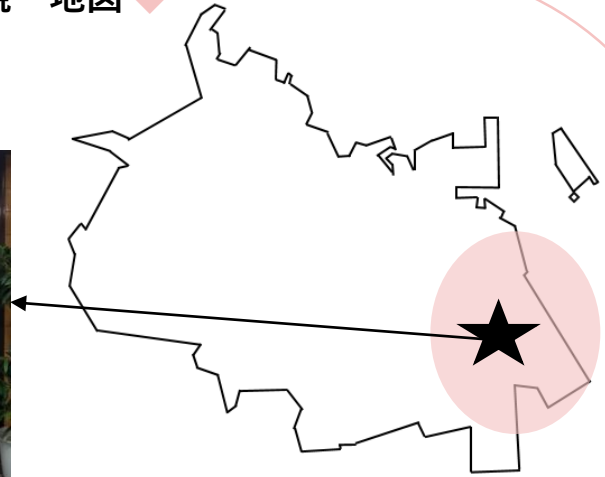


開設に向けた迅速な準備

地区内3ヶ所目の居場所を開設するにあたり、地域支援員のこれまでの経験を活かし、迅速に準備を始めました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



よりみち 関ヶ原開設

開設に向け、話し合いを繰り返し、令和4年1月関ヶ原シルバーセンターにて、「よりみち 関ヶ原」を開設することができました。



よりみち 関ヶ原のいま

参加者の皆さんで手話やウクレレ、フラダンスなど好きなことや得意なことを楽しんでいます。



よりみち 鈴ヶ森開設

情報提供があった日から約4か月、地域支援員の迅速な対応により、令和4年1月大経寺にて、「よりみち 鈴ヶ森」を開設することができました。



よりみち 鈴ヶ森のいま

品川かるたや体操、お話をしながら皆さんで集まることのできる時間を楽しんでいます。



荏原第一地区 地域交流会から広がる地域の輪



開設年度：平成29年7月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：25名

利用者数：97名

地域支援員との 対話から

コロナ禍でほんとサービスが中止になってしまい地域支援員から「コロナで人と話す

機会がなくなってしまった」という話や、



「利用者さん、元気？」と聞くことができました。その後、ほんとサービスで久しぶりに会った利用者「元気だった？」と楽しそうに話す姿から、つながりの大切さを感じるようになりました。



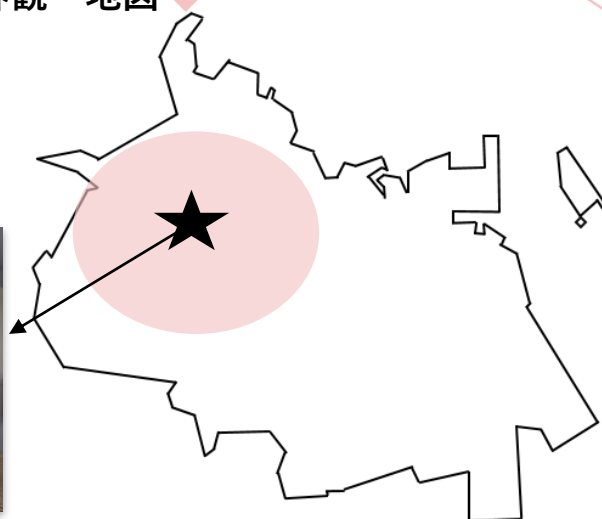
地域交流会の開催

地域の方同士でつながる場を作ろうと地域交流会を開催しました。地域交流会では、ひとり暮らし高齢者の見守りとして品川区と品川区社会福祉協議会と協定を結んでいる『明治安田生命』より、「睡眠と健康」について話していただきました。

その後、グループワークを行い、「居場所があると良い」「マンションが建ち、街が変化した」などの意見が出ました。



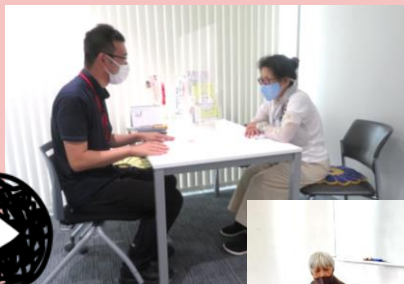
◆ 地域センター外観・地図 ◆



話を深める

地域交流会で出た意見を元に、少人数での話し合いも行いました。より深い話をすることができ、具体的に「外出しないと元気が出なくなる。そういう方が出て来られる場所が必要ではないか」などの話がありました。

また、次の地域交流会を楽しみにする方もいて、テーマやグループワークなど一緒に考えていくことになりました。



地域交流会で 輪が広がる



今回、地域交流会で初対面だった方が、回数を重ねるごとに仲を深めていく様子がありました。

知り合いが増えていくことは、地域交流会の目的の一つでもあります。地域交流会を継続する中で、新たな輪が広がりつつあります。



荏原第五地区

横のつながりを深めて

想いをカタチに



開設年度：平成29年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：25名

利用者数：75名



フリースペース：

よりみち ホット ふたば（令和4年1月～）

居場所のはじまり

「地域に、どのような方でも利用できる場所があったら良いね」と話し合う中、地域の企業から場所を提供していただけることになりました。

まずは、地域の方同士が交流できる機会を考えるため、ミーティングを重ねていきました。

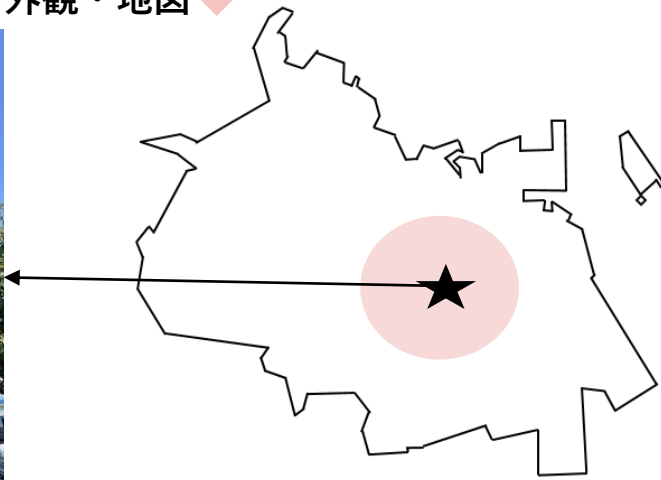


クイズラリー実施

話し合う中で「コロナ禍でも何か楽しみがあると良いね」と意見があり、しながわ中央公園に咲く花の場所を当てるクイズを考えました。当日はお天気に恵まれ、「外出のきっかけになった」と参加者から感想をいただきました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



よりみち開設に向けて

「よりみちの雰囲気を知りたい」と思い、先によりみちを立ち上げた地区の地域支援員から話を聞きました。先輩からの話はとても参考になり、荏原第五地区でどのようなよりみちを作れたら良いのかイメージすることができました。



ホットふたば オープン

そして、令和4年1月によりみちがオープンとなりました。地域の中に、集まる場があることの大切さを感じながら、少しずつ地域の方に利用していただいています。

皆さんで話をしながら楽しく過ごしています。



品川第二地区 雰囲気のちがう3つの「よりみち」!!



開設年度：平成22年8月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：37名

利用者数：119名



フリースペース：

よりみち 南品川（平成22年8月～）

よりみち 三楽会（平成23年4月～）

よりみち 東品川ゆうゆう（令和3年4月～）

よりみち 南品川

令和3年度で10年目を迎えました。令和2年度はコロナ禍により中止していましたが、4月に再開しました。よりみち 南品川に行くと、とても明るい気持ちになり「今日もいっぱい笑ったな～」と思いながら帰れる、そんな居場所です。

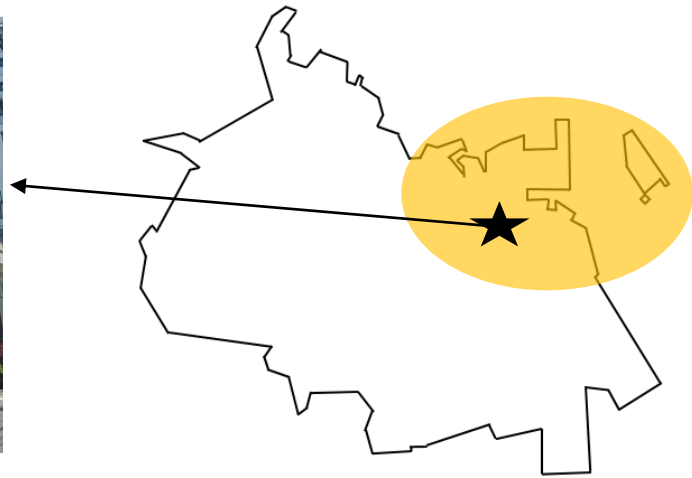


よりみち 三楽会

令和2年度はコロナ禍により中止していましたが、4月に再開しました。人生経験豊富な参加者や民生委員など、さまざまな方がよりみち 三楽会に参加しています。楽しい話はもちろんのこと、悩みごとなども相談できるよりみちです。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



よりみち 東品川ゆうゆう

令和3年4月 コロナ禍で開設
されました。

女性が多く華やかな雰囲気
で「よりみちの日は、ちょっとお
しゃれをして...」という方も！
建物も新しく、参加者も地域支
援員も、開催の日を楽しみにし
ています。



それぞれの外観



南品川

三楽会



東品川
ゆうゆう



大崎第一地区 世代や所属を超えて・・・



開設年度：平成29年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：39名

利用者数：80名



フリースペース：

よりみち ほっとひといき（令和元年6月～ 現在休止中）

◆ よりみち ほっとひといき ◆



不動前駅通り商店街と

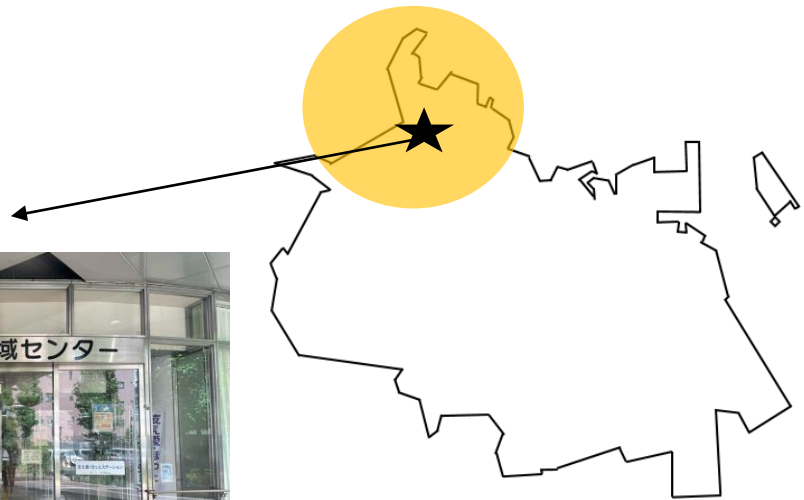
不動前がにぎやかで楽しいところになると、不動前駅通り商店街では様々なイベントが行われ、支え愛・ほっとステーションも協力させていただきました。

『写真コンテスト』では、地域支援員が審査員として参加し、優秀賞やほっこり賞などを選出！『川柳コンテスト』では、地域支援員その他、利用者や町会の皆さんも作品の審査に参加しました。

また、商店街の方と地域支援員で懇談会も開催。買い物事情やコロナ禍で地元の商店がおかれている状況などを話し合うことができました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



日野学園と

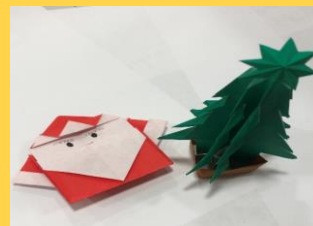
日野学園とのコラボ事業、日野愛ほっとステーションを開催！生徒会の皆さんと一緒に「コロナ禍でも何かできないか」とリモート交流会を企画。吹奏楽部の演奏、チーム対抗ご当地クイズ、ジェスチャーゲームで交流しました。



ZOOMの映像より

地域の皆さんと

「ウィズコロナで頑張った高齢者の皆さんに何か気持ちを届けたい！」と地域支援員と考え、クリスマスカードともみの木をお届けすることに。地域支援員、民生委員、高齢者クラブの皆さんと心を込めて作りました。



大井第三地区 地域支援員さんと一緒に作った オリジナルチラシ



開設年度：平成29年6月



登録状況（令和3年度末現在）

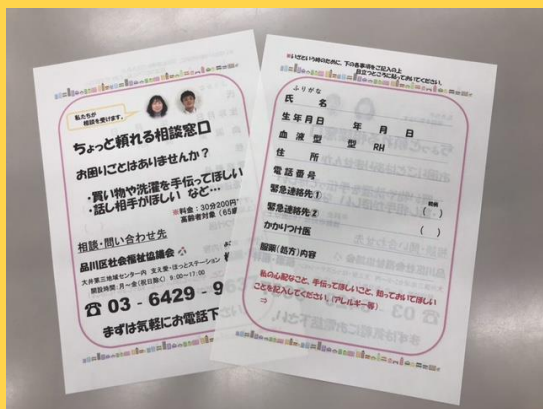
支援員数：43名

利用者数：142名



チラシを作成

ミーティングを重ねる中で、「声をかけあえる街にしたい」という共通認識があることが分かりました。声をかける時のツールとして、大井第三支え愛・ほっとステーション独自のチラシを作成することになりました！



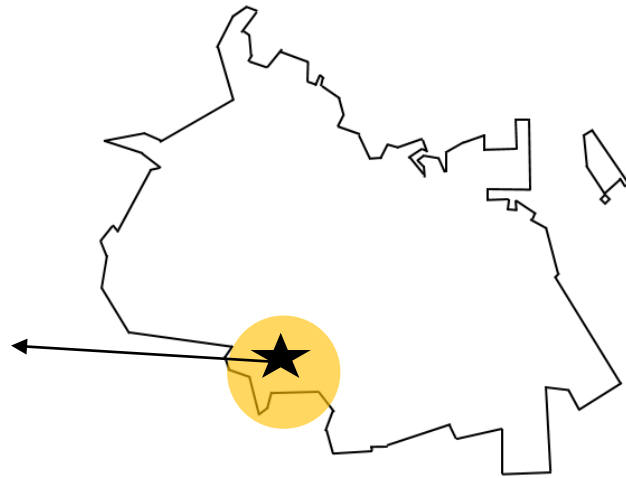
周知活動

町会や民生委員、医療福祉関係、さらには消防や警察の方々にもこのチラシを広めることになりました。地域支援員自身が参加しているラジオ体操や習いごとでの配布も含め、約500部配ることができました。

近所の薬局に
置かせて
いただきました♪



◆ 地域センター外観・地図 ◆



見守り意識が強まる

地域支援員自ら周知活動に努める中で、一人一人の見守り意識が強くなりました。月に一度のミーティングでは色々な意見が飛び交うように。窓口へも「このチラシを見ました」とさまざまな方から相談が入るようになりました。



居場所の必要性

話し合いを続けていく中で、「コロナが終息した暁には、高齢者が気軽に話しに来れるような居場所が必要なのではないか」という声があがりました。

現在、よりみちの実現に向け、話し合いが行われています。



荏原第四地区 アンケートをきっかけに・・・



開設年度：平成29年6月



登録状況（令和3年度末現在）

支援員数：25名

利用者数：57名



つながりなおそう！～アンケートの実施～

コロナ禍で、地域の皆さんへ直接
「顔を見て」ご挨拶する機会が激減。

「地域のことについて知りたい！

支え愛について知ってもらいたい！」
という思いから、アンケートを実施する
ことにしました。

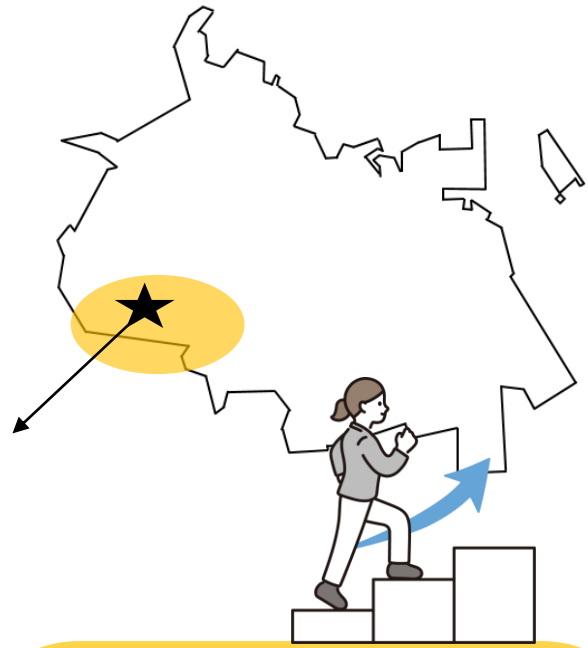
アンケートの内容は、

- ①コロナ前は、どんな活動をしていたか
- ②コロナ禍の現在、その活動はどのよう
にしているか。

コロナ禍で、地域活動をどのように
工夫して継続しているか教えていただき
「この先もだれもが安心して住み続けら
れる地域にしていくにはどうしたらいい
か？」を地域の皆さんと一緒に考える
きっかけにしました。



◆ 地域センター外観・地図 ◆



地域活動へご挨拶

アンケートを通して、コロナ禍でもそれぞれ工夫した形で地域活動を行っていることを知りました。各活動に見学、事業のご案内に伺うと「支え愛？初めて知った」と、これを機に新たなつながりも生まれました。

支援員 10名増！

お伺いした先では「ボランティア活動っていうと難しそうだけどそんな小さなことでいいなら協力できるよ」と、1年間で10名もの方が、地域支援員として登録して下さいました。

皆さん、現在、大活躍中です♪



よりみち（フリースペース）一覧

開催状況については、各支え愛・ほっとステーションにお問い合わせください。

品川地区

1.よりみち ばんば（品川第一）

場所	本照寺 北品川 2 - 2 0 - 2 5
お問い合わせ先	品川第一 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 3 3 - 9 1 3 3

2.よりみち 南品川（品川第二）

場所	南品川シルバーセンター 南品川 5 - 1 0 - 3
お問い合わせ先	品川第二 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 3 3 - 0 4 4 1

3.よりみち 三楽会（品川第二）

場所	三睦会町会会館 南品川 3 - 3 - 5
お問い合わせ先	品川第二 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 3 3 - 0 4 4 1

4.よりみち 東品川ゆうゆう（品川第二）

場所	東品川ゆうゆうプラザ 東品川 3 - 3 2 - 1 0
お問い合わせ先	品川第二 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 3 3 - 0 4 4 1

大崎地区

5.よりみち ほっとひといき（大崎第一）

場所	大崎第一地域センター 地域活動室 西五反田 3 - 6 - 3
お問い合わせ先	大崎第一 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 2 1 - 7 8 1 0

大井地区

6.よりみち お〜いっ（大井第一）

場所	日生薬局 大井町店 2 階研修室 東大井 6 - 4 - 3
お問い合わせ先	大井第一 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 0 4 - 6 8 7 8

7.よりみち 鈴ヶ森（大井第一）

場所	大経寺 南大井 2 - 5 - 6
お問い合わせ先	大井第一 支え愛・ほっとステーション 0 3 - 6 4 0 4 - 6 8 7 8

8.よりみち 関ヶ原（大井第一）

場所	関ヶ原シルバーセンター 東大井6-11-11
お問い合わせ先	大井第一 支え愛・ほっとステーション 03-6404-6878

9.よりみち やまなか（大井第二）

場所	大井三丁目ゆうゆうプラザ 大井3-17-16
お問い合わせ先	大井第二 支え愛・ほっとステーション 03-5728-9093

荏原地区

10.よりみち 荏原いきいき倶楽部（荏原第二）

場所	荏原いきいき倶楽部1階 荏原6-2-8
お問い合わせ先	荏原第二 支え愛・ほっとステーション 03-6426-4110

11.よりみち 荏三（荏原第三）

場所	平塚橋ゆうゆうプラザ1階コミュニティ室2 西中延1-2-8
お問い合わせ先	荏原第三 支え愛・ほっとステーション 03-6421-6542

12.よりみち わかば（荏原第三）

場所	場所についてはお問い合わせください。
お問い合わせ先	荏原第三 支え愛・ほっとステーション 03-6421-6542

13.よりみち ホットふたば（荏原第五）

場所	宅配クック123 品川店 二葉2-14-8 第一飯塚ビル1階
お問い合わせ先	荏原第五 支え愛・ほっとステーション 03-6426-2625

八潮地区

14.よりみち ほっと八潮（八潮）

場所	こみゅにていぶらざ八潮 八潮5-9-11
お問い合わせ先	八潮 支え愛・ほっとステーション 03-5755-9828



私も行ってみようかな？

窓口一覧

支え愛・ほっとステーションは、各地域センターの中にあります。

地区	電話番号	住所
品川第一	03-6433-9133	北品川3-11-16
品川第二	03-6433-0441	南品川5-3-20
大崎第一	03-6421-7810	西五反田3-6-3
大崎第二	03-6303-9139	大崎2-9-4
大井第一	03-6404-6878	南大井1-12-6
大井第二	03-5728-9093	大井2-27-20
大井第三	03-6429-9637	西大井4-1-8
荏原第一	03-6421-5557	小山3-14-1
荏原第二	03-6426-4110	荏原6-17-12
荏原第三	03-6421-6542	平塚1-13-18
荏原第四	03-6426-2464	中延5-3-12
荏原第五	03-6426-2625	二葉1-1-2
八 潮	03-5755-9828	八潮5-10-27

お気軽にご相談ください♪



支え愛・ほっとステーション活動報告
～コロナ禍で見えたつながりの大切さ～

令和5年1月 第1版第1刷発行

発行 社会福祉法人 品川区社会福祉協議会

支え愛・ほっとステーション

〒140-0014

東京都品川区大井1-14-1 大井1丁目共同ビル

電話 03-5718-7186 FAX 03-5718-7170

担当 鈴木正子 山崎貴子

